

地域資源活用価値創出推進・整備事業（農福連携型）

【令和7年度予算概算決定額 7,389（8,389）百万円の内数】

<対策のポイント>

農福連携の一層の推進に向け、障害者等の農林水産業に関する技術の習得、障害者等に農業体験を提供するユニバーサル農園※の開設、農福連携を地域で広げるための取組、障害者等が作業に携わる生産・加工・販売施設の整備、全国的な展開に向けた普及啓発、都道府県による専門人材育成の取組等を支援します。

<事業目標>

農福連携等に取り組みむ主体数（12,000件〔令和12年度まで〕）

※ 農業分野への就業を希望する障害者等に対し
農業体験を提供する農園

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 地域資源活用価値創出推進事業（農福連携型）

① 農福連携支援事業

障害者等の農林水産業に関する技術の習得、作業工程のマニュアル化、ユニバーサル農園の開設、移動式トイレの導入、農福連携を地域で広げるための取組等を支援します。

【事業期間：上限2年間、交付率：定額（上限：150万円/年、経営支援又は地域協議会の設立及び体制整備300万円/年、作業マニュアルの作成等）に取り組み場合は初年度の額に40万円加算可能】

② 普及啓発・専門人材育成推進対策事業

農福連携の全国的な横展開に向けた取組、農福連携の定着に向けた専門人材の育成等を支援します。

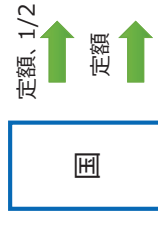
【事業期間：1年間、交付率：定額（上限500万円等）】

2. 地域資源活用価値創出整備事業（農福連携型）

障害者等が作業に携わる生産施設、ユニバーサル農園施設、安全・衛生面に係る附帯施設等の整備を支援します。

【事業期間：上限2年間、交付率：1/2（上限：簡易整備200万円、高度経営1,000万円、経営支援2,500万円、介護・機能維持400万円）】

<事業の流れ>



※下線部は拡充事項

（①②の事業）

（①②の事業）

1. 地域資源活用価値創出推進事業（農福連携型）

① 農福連携支援事業



農産加工の実践研修



養殖籠補修・木工技術の習得



移動式トイレの導入 ユニバーサル農園の開設



人材育成研修

② 普及啓発・専門人材育成推進対策事業



普及啓発に係る取組



2. 地域資源活用価値創出整備事業（農福連携型）



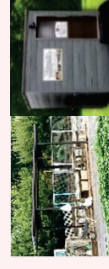
農業生産施設(水耕栽培ハウス)



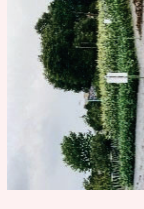
苗木生産施設



養殖施設



休憩所、トイレの整備



園地、園路整備



処理加工施設

農山漁村振興交付金のうち 中山間地農業推進対策

【令和7年度予算概算決定額 7,389 (8,389) 百万円の内数】
 (令和6年度補正予算額 1,325百万円の内数)

＜対策のポイント＞

中山間地域等において、地域別農業振興計画に基づき、**収益力向上や販売力強化等に関する取組**、複数集落の機能を補完する**農村RMOの形成**、**デジタル技術の導入・定着**を推進する取組を支援します。

＜事業目標＞

中山間地域等の特色をいかした営農と所得の確保に取り組み、事業目標を達成した地区の創出（350地区〔令和7年度まで〕）

＜事業の内容＞

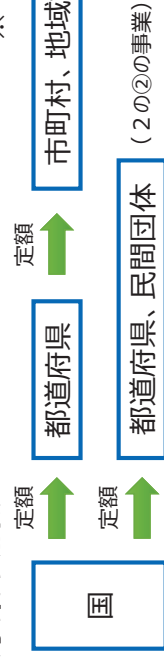
1. 中山間地農業ルネサンス推進事業

- ① 中山間地農業ルネサンス推進支援
中山間地域等の特色をいかした創意工夫あふれる取組等を支援します。
- ② 元気な地域創出モデル支援
収益力向上や販売力強化等に関する取組、デジタル技術の導入・定着を支援します。
 【事業期間：上限3年間、交付率：定額（上限3,000万円（1,000万円（年基準額）×事業年数））】

2. 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

- ① 農村RMOモデル形成支援
ア 一般型
むらづくり協議会等が行う調査、計画作成、実証事業等を支援します。
 【事業期間：上限3年間、交付率：定額（上限3,000万円（1,000万円（年基準額）×事業年数））】 ※**地域計画連携タイプ**は年基準額1,200万円
 イ 活動着手支援型
遊休農地利用の開始や高齢者支援への着手など、農村RMOの形成につながる取組を支援します。
 【事業期間：1年間、交付率：定額（上限200万円）】
- ② 農村RMO形成伴走支援
協議会の伴走者となる中間支援組織の育成等の取組を支援します。

＜事業の流れ＞

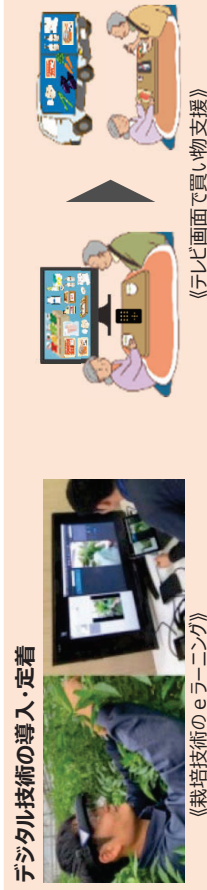


＜事業イメージ＞

1. ② 元気な地域創出モデル支援



社会課題解決や魅力向上を通じた地域活性化



2. 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業



農村の「くらしづくり」を推進

【お問い合わせ先】 農村振興局地域振興課（03-3501-8359）

～地域で支え合うづくりの推進～

【令和7年度予算概算決定額 7,389 (8,389) 百万円の内数】
 (令和6年度補正予算額 1,325百万円の内数)

中山間地域等において、複数集落の機能を補完する農村RMOの形成を推進するため、むらづくり協議会等が行う実証事業やデジタル技術の導入・定着を推進する取組のほか、協議会の伴走者となる中間支援組織の育成や全国プラットフォームの整備等を支援します。

農用地保全に取り組む地域運営組織（100地区）[令和8年度まで]

事業

農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ

むらづくり協議会等による地域の話合いを通じた農用地保全、地域資源活用、生活支援に係る**将来ビジョン策定**、**ビジョンに基づく調査、計画作成、実証事業等の取組**、**デジタル技術の導入・定着**を推進する取組を支援します。

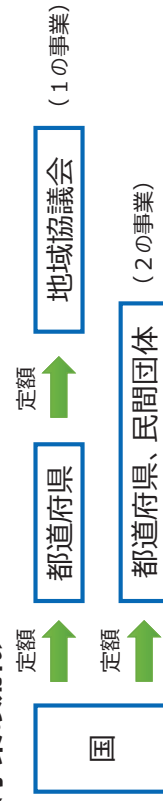
【事業期間：上限3年間、交付率：定額（上限3,000万円（1,000万円（年基準額）×事業年数））※地域計画連携タイプは年基準額1,200万円（年基準額）×事業年数）】

農村RMOの裾野を広げるため、遊休農地利用の開始や高齢者支援への着手など、農村RMOの形成につなげる取組を支援します。

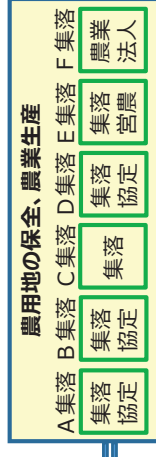
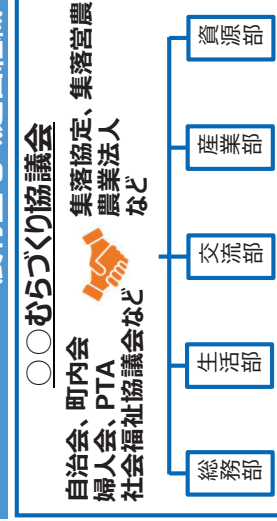
【事業期間：1年間、交付率：定額（上限200万円）】

農村RMO形成を効率的に進めるため、**中間支援組織の育成等**を通じて都道府県単位における**伴走支援体制の構築**や、各地域の取組に関する情報・知見の蓄積・共有、研修等を行う**全国プラットフォームの整備**を支援します。

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織



※対象地域：8 法指定地域等
※下線部は拡充事項



農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

農村RMOモデル形成支援「一般型」



豊村RMOモデル形成支援「活動着手支援型」



農村RMO形成伴走支援



中間支援組織による人材育成研修



農村RMO研究会による情報・知見
の蓄積・共有、研修等の支援

[お問い合わせ先] 農村振興局地域振興課 (03-3501-8359)